

木更津の住民、東京連絡会が署名提出 オスプレイ配備撤回を求める

米軍岩国基地に陸揚げされた陸自オスプレイ



木更津「住民の会」 防衛省に署名提出

6月5日午前、木更津の《オスプレイ来るな いらぬ住民の会》は、この間全国によびかけ、寄せられた政府宛ての署名1万筆を防衛省に提出し、意見交換をおこないました。この行動には、住民の会に参加する日本共産党、立憲民主党、無所属の市議のほか、国民民主党の議員秘書、社民党の県役員も参加し、この間木更津で築き上げてきた共闘の幅の広さを示しました。この行動には日本共産党の畑野衆院議員や日本共産党千葉県委員会などからも参加しました。

吉田会長の下には、全国から政府宛てが約1万8千筆、木更津市長宛ても約1万筆が寄せられています。政府宛ては、第2回の署名提出行動ととりくむことにしています。木更津市長宛ては、近く設定される予定の市長要請行動時に手渡すことにしています。

署名提出後の意見交換では、住民の会側から「暫定配備5年の担保は」との問いに「防衛大臣が『5年以内が目標』と言明した通り」とし、5

年にとどまらない可能性を否定しませんでした。最近報道された「格納庫新設」等についても、「米軍が公募の内容を、木更津市にお伝えした」との答弁を繰り返しました。

住民の会では、「今日の答弁で、『暫定配備5年』になんの保障もないことが明らかになった。市民運動をひろげるために力をつくそう」と話しあっています。そのためにも学習が大切になっていることを確認しています。

(安保千葉・紙谷敏弘)

東京連絡会が都に署名提出

オスプレイ反対東京連絡会は6月8日、東京・横田基地からの米特殊作戦機CV22 オスプレイ部隊の撤去を国に求めるよう要請する請願署名8034人分を都に提出しました。

請願署名ではオスプレイによる第21特殊作戦中隊が海外で暗殺や拉致、拠点襲撃を行うため、夜間訓練を中心に低空飛行など危険な訓練を行う部隊だと指摘。同基地配備後、騒音増加や低空・夜間飛行で周辺住民から「自宅マンションに向かって飛んでくる」「夜間サーチライトに照らされた」などの声があがっていることを強調しました。(中略) 同基地からのオスプレイ部隊の撤去とともに、夜間・低空飛行、機関銃装備など危険な飛行・訓練の中止を国に求めるよう要請しています。

都政策企画局の担当者は「要請の趣旨は知事と所管局に伝える」と答えました。

(しんぶん赤旗 9日付より)



沖縄県議選は7日におこなわれ、建白書実現をめざす玉城県政を支える与党が25議席を獲得し、過半数を確保しました。投票率は46.96%、過去最低で期日前投票は過去最高を示しました。投票日はコロナ禍の中、そして一部の地域が豪雨になる悪天候でも投票所に足を運ぶ人が多くいました。今回の県議選では、安保中央と沖縄県統一連は連携し、4月24日に沖縄の地元2

権者に「オール沖縄」候補への支持を訴える電話活動を加盟団体と都道府県実行委員会が、今までにない多くの参加でおこなってもらえました。おもに国頭郡区、中頭郡区、宜野湾市区、宮古島市区の有権者へおこないました。若者も多く電話活動に参加してくれました。全国のみなさんの県議選へのご支援に御礼を申し上げます。

辺野古新基地建設阻止へ
玉城県政の与党過半数維持
新聞意見広告の募金・電話支援

紙に玉城県政の発展を訴える意見広告を掲載するとりくみと賛同募金にとりくみました。告示直前からは、沖縄の有

お知らせ
6月22日の「止めよう 辺野古新基地建設! 辺野古裁判勝利! 6・22集会」は延期になりました。